



第 7 章

参考資料

1 訪問調査・フォーカスグループインタビューからのニーズ

1) 調査の目的

介護保険計画策定に向け、介護保険、高齢福祉に関する住民ニーズを把握するため訪問調査及びフォーカスグループインタビュー調査を実施しました。

2) 対象者と方法

①訪問調査

対象者は、要支援、要介護認定者は 59 名、元気高齢者 15 名、介護保険施設入所者 8 名、介護保険サービスと一般介護予防サービスの併用者 6 名、在宅看取り経験者 4 名、介護保険施設職員 12 名の合計 104 名でした。調査方法は訪問調査による面接調査法で実施しました。対象者の自宅またはすこやかセンター等施設において面接による聞き取りで回答を得ました。

②フォーカスグループインタビュー

対象者は、認知症介護者及び介護経験者は 8 名、介護保険サービス事業所 8 名、元気高齢者 9 名、担い手（敬老ボランティア）6 名、独居高齢者 18 名、老人クラブ会長 13 名、総合事業打ち合わせ会・飛島村職員 13 名の合計 65 名でした。調査方法はフォーカスグループインタビュー法を用いました。1 時間～1 時間半のインタビューを行い、対象者に事前に承諾を得た上で IC レコーダー及びビデオ動画での記録をもとに、内容分析を行いました。

3) 結果

①元気の秘訣、認知症予防に効果的なこと

元気で生活するための秘訣や認知症にならないために効果的だと思うこととして、外出や人と接するなどの「社会との関わりや外出」「運動をすること」「老人クラブや地域グループへの参加」「孫との交流」「新聞や本、ニュースなどを見る」「カラオケ」「役割をもつこと」などの意見が多く得られました。特に元気の秘訣として「仲間との交流」について訪問調査では、元気高齢者述べ 6 名(40.0%)、要支援・要介護認定者述べ 14 名(23.7%)から回答が得られ、老人クラブや地域活動などを通じた仲間との交流が生きがいにつながっていることが伺えます。

また、グループインタビューでも人と交流する機会の重要性や、趣味や余暇に関する意見が多くあがり、孫世代との交流を含めた多世代交流やコミュニティづくり、趣味、役割創出などの生きがいづくり支援の必要性が示唆されました。

結果の代表例は以下の通りです。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| • 社会との関わりや外出 | • 運動すること |
| • 老人クラブや地域グループへの参加 | • 規則正しい生活 |
| • 孫との交流、孫の成長 | • 新聞や本、ニュースなどを見る |
| • 脳トレ | • 自分でできることは自分でする |
| • 畑仕事 | • 目標を持ったり自分の思うよう生きる |
| • 趣味 | • 健康的な食事への関心 |
| • カラオケ | • 役割を得ること |
| • 無理をしない | • 指先を動かす |
| • 機能低下の早期発見 | • 喪失などイベント後のメンタルケア |
| • 生活の中で頭を使う | • 家事などをする |
| • 認知症について勉強する | • 飛島村オリジナル体操 |

②生活支援サービスへのニーズ

生活支援サービスへのニーズでは、要支援・要介護者への訪問調査では59名中23名から「金銭管理」との回答を得ました。さらに各対象からは病院やリハビリ施設への「送迎サービスの充実」や「病院へのタクシー送迎制度の見直し」「福祉タクシーチケット券の上限設定の見直し」など、医療機関と自宅間の送迎に関する制度への要望の声が多くきかれました。また介護施設職員など支援者からは「話し相手づくり」へのニーズや、1人ひとり状況が違う中で制度の垣根を越えた「段階や個別性に合わせたサービス」の必要性に関する声が多く聞かれ、居住地や介護度など個別性を重視した生活支援サービスへのニーズが高まっています。

結果の代表例は以下の通りです。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| • 金銭管理などの日常生活支援 | • 話し相手づくり |
| • 送迎サービスの充実 | • 見守り支援 |
| • 買い物支援、家事手伝い | • 夜間の預かり |
| • 訪問サービスの充実 | • 病院へのタクシー送迎制度の見直し |
| • 物品の貸し出し | • 介護者家族支援の充実 |
| • 細やかなデイサービス（のようなもの）の充実 | • 段階や個別性に合わせたサービス |
| • 福祉タクシーチケット券の上限設定の見直し | |

2 飛島村高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会設置要綱

第1条 長寿社会に向けて、村民が健康で生きがいを持ち、安心して過ごせる地域社会の実現を目指して実施すべき施策を検討するため、飛島村高齢者保健福祉計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（検討事項）

第2条 委員会は、前項の目的を達成するため、次に掲げる事項を検討する。

- (1) 高齢者保健福祉サービス提供等の現状と課題
- (2) 高齢者保健福祉サービス目標量の設定
- (3) 高齢者保健福祉サービスの供給体制のあり方
- (4) その他老人保健福祉に関する必要な事項

（組織）

第3条 委員会は、次に掲げるものをもって組織し、委員は村長が委嘱する。

- (1) 保健医療関係者
- (2) 社会福祉協議会等福祉関係者
- (3) 学識経験者
- (4) 被保険者代表
- (5) 区長会代表
- (6) 保健医療福祉関係職員
- (7) その他村長が認めた者

2 委員の任期は、飛島村高齢者保健福祉計画の策定をもって終了する。

（委員長及び副委員長）

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選とし、副委員長は委員長の指名とする。
- 3 委員長は会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 委員会は、必要に応じ委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決すところによる。

3 委員会は、必要に応じ、関係者から意見を聴くことができる。

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、村長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、平成11年4月1日から施行する。

3 飛島村高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会委員名簿

(敬称略)

区 分	氏 名	備考
医師	荒川 直之	
医師	杉原 景子	
歯科医師	松久 勝彦	
歯科医師	布目 静香	
薬剤師代表	多田 一	
文教厚生委員長	鈴木 康祐	
社会福祉協議会会長	中山 幸雄	委員長
民生委員協議会会長	早川 盛行	
第1号被保険者代表	井田 晴己	
第2号被保険者代表	岡村 靖朗	
介護保険施設代表	森 章人	
介護保険施設代表	村瀬 直樹	
介護保険施設代表	児玉 光	
副村長	早川 忠孝	副委員長
民生部長	平野 美由紀	
地域包括支援センター職員	栗本 聡江	
地域包括支援センター職員	奥村 理加	

スーパーバイザー：飛島村日本一健康長寿村研究会 代表 安梅 勅江（筑波大学教授）

4 策定経過

年月日	調査及び会議等
平成 28 年 11 月 9 日 ～平成 29 年 1 月 31 日	在宅介護実態調査
平成 29 年 4 月 11 日～5 月 2 日	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査健康チェックリストの実施
7 月 4 日～7 月 14 日	フォーカスグループインタビューの実施 訪問調査の実施
10 月 19 日	高齢者保健福祉計画策定委員会・介護保険事業計画策定委員会の開催 (1) 飛島村の高齢者の状況 (2) 第 1 号被保険者に占める認定率及び平均介護度 (3) 第 7 期介護保険事業（支援）計画に関する基本指針の策定について (4) 飛島村高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画アンケート調査結果報告書 (5) 飛島村健康チェックリスト 調査結果報告書 (6) 平成 29 年度介護保険計画ニーズ 調査結果報告書
平成 30 年 1 月 4 日～1 月 18 日	パブリックコメントの実施
2 月 8 日	高齢者保健福祉計画策定委員会・介護保険事業計画策定委員会の開催 (1) パブリックコメントの結果について (2) 飛島村高齢者保健福祉計画・第 7 期介護保険事業計画（案）について

飛島村高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画
平成30年3月

発行：愛知県飛島村
編集：民生部保健福祉課

〒490-1434 愛知県海部郡飛島村大字松之郷三丁目46番地の1

T E L : 0567-52-1001 F A X : 0567-52-1009